

令和元年度 幼稚園教職員自己評価結果報告書

令和2年3月
学校法人芦屋学園
認定子ども園芦屋中央幼稚園

当園ではこの度、幼稚園教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す良い機会となりました。また、それぞれの評価結果について皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

1. 本園の教育目標

- ・様々な実体験（あそび）を通し、一人ひとりの感性をみがく。
- ・一人ひとりの個性を尊重しながら可能性を引き出し、生きる力の基礎を培う。
- ・園児の健やかな成長が図れるよう、その心身の発達を助長する。
- ・必要に応じ、保護者に対して子育てに関する悩み、相談に対応できる体制を構築する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 1 遊びを中心として子ども達が伸び伸びと活動する教育活動の充実に努める。
- 2 規則正しい生活習慣を身に付け、自立心を養う。
- 3 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。
- 4 子育て支援の充実。
- 5 幼稚園と小学校の連携を推進する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育活動の充実	A	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちのやってみたい気持ちを大切に保育に取り組んできた。・教育活動が適切に行われるよう保育後に子ども達の様子を伝え合うことによって、保育が向上した。・ネイティブの先生による楽しい英語遊びを通して、英語への興味関心が高まり、英会話教室を楽しみにする様子が見えた。・子どもたちの発達の姿をとらえる為、園内研修を定期的に行った。・職員会議で日々の子どもたちの姿について話し、自由に意見が開示できる環境をつくっている。
2	基本的な生活習慣	B	<ul style="list-style-type: none">・個人懇談や、送迎、放課後の電話連絡の際に、保護者との情報共有を意識的に行い、園と家庭との両方で基本的な生活習慣の定着を図った。
3	安全管理	B	<ul style="list-style-type: none">・年間10回の避難訓練、1回の地震訓練、1回の不審者予防訓練を実施し子どもたちの安全管理に努めるよう取り組んだ。・毎日安全点検をして問題箇所の即時改善を行っている。・不審者予防訓練では折尾警察署と連携して合同訓練を行い、安全管理体制の見直しを行っている。

4	子育て支援	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間9回の子育て支援「ひよこクラブ」を地域の人に周知してもらうように、対象児家庭に手紙を配布した。芦屋町広報にも載せてもらった。又、ひよこクラブに参加した方にも、ご近所の方がいたら、お誘いいただくようお願いした。
5	小学校との連携	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回の発達相談を行い小学校教員、臨床心理士、教育委員による幼稚園巡回相談を行って子どもたちの様子を共有している。 年度末に幼小連絡会を行い、書類や口頭で子どもたちの様子を伝え、小学校でのスムーズな受け入れが出来るようにしてもらっている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> 取り組むべき課題について全職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことによって、それを実践することができた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 園の方針や、教育活動に基づいた保育計画・実行ができるよう保育の質を更に高める。 研修会に積極的に参加し、保育計画の実行を進める為の子ども達の発達理解、保育内容の充実を図る。 園内研修を定期的に行うことを継続し、幼児理解、保育内容の質を高める。
2	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 今後も家庭との連絡をとりながら、基本的な生活習慣の定着に努める。 個々の基本的な生活習慣の到達状態を見直し、園全体でより良い指導、保育を模索していく。
3	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの改良追加点を話し合い、変更を行う。 訓練の日にちを子どもたちに知らせている家庭がある。実際に近い訓練にする為来年度は、避難訓練の通知をどうするか検討する。
4	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ひよこクラブが地域の方に周知していただけるよう、次年度も広報活動を継続する。
5	小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が安心して就学出来るよう、幼稚園と小学校の連携を今後もより密にし、情報交換に努めたい。